



16年度から整備される原ヶ谷戸緑地(仮称)

### 美しさとゆとりのあるまち (都市基盤整備)

都市景観基本計画の策定	453万6千円
市民の参画をいただきながら、市の特徴を生かした街並みづくりを進めます。16年度は都市景観条例を制定し、17年度は基本計画を策定します。	
拝島駅自由通路整備事業	1億1,772万円
昭島市、東京都、鉄道事業者と連携し、拝島駅の南北を結ぶ自由通路を設置し、地元住民等の利便性を図ります。16年度は設計で、17年度から19年度までの工事を予定しています。	
福生駅構内エレベーター等整備事業補助金	6,000万円
どなたでも安心して、円滑に駅を利用できるよう、構内にエレベーターとトイレを設置します。	
原ヶ谷戸緑地(仮称)新設事業	5億8,749万7千円
市内に残された貴重な緑地を保全するとともに、緑とのふれあい、憩いの場を提供するため、3年間で実施します。	

# 平成16年度の主な事業



中学校の昼食対策事業として整備されたランチルーム(第一中学校)。続いて第二中学校、第三中学校と順次整備していきます

### ふれあいと愛情のあるまち (教育・文化)

中学校適応指導補助員の配置	307万6千円
学級になじめない生徒への対応として、学習や生活に対する相談、助言を行うことで、学校とのつながりを維持し、不登校を予防します。各校1名を配置し、空き教室等を活用していきます。	
教育広報「福生の教育」の発行	190万9千円
開かれた教育行政をさらに推進するために、年3回を年4回の発行とし、内容の充実を図るとともに、より新しい情報を積極的に市民に提供していきます。	
育英補助金の充実	318万5千円
保護者負担の軽減と教育の機会均等を図るため、全日制課程分の一人当たりの月額を増額します。	
中学校昼食対策事業	3億6,299万3千円
第一中学校から弁当併用、複数メニュー、業者委託により実施していきます。第二中学校は整備工事、第三中学校は設計を予定しています。	
市民会館等リニューアル事業	1,418万円
建物の老朽化や多様化する利用者に対応するため施設の改善を行います。平成16年度は設計、17年度は工事を予定しています。	

### 構想の推進(市民参加の拡大・行政運営の充実)

新庁舎建設事業	2,704万3千円
市民参画による市民検討委員会を設置し、広く意見を取り入れた基本計画を作成し、この基本計画に基づいた基本設計を行います。	
福生市総合計画修正後期基本計画の策定	960万3千円
真に市民に必要な市政運営を行うために、長期的な視点にたち、後期基本計画(平成17~21年度)を策定します。	
防衛施設周辺まちづくり構想策定事業	1,000万円
昨年度に引き続き、防衛施設と周辺地域との調和を図るため、市民提案・市民意識調査等により市民の参画をいただきながら、まちづくり構想を策定します。	

### 安全とやすらぎのあるまち (福祉・保健・医療)

成年後見相談等福祉サービス総合支援事業	51万円
成年後見制度の利用相談、苦情相談、権利擁護相談、福祉サービス利用援助等を総合的、一体的に実施します。	
成年後見市長申立事務	17万円
身寄りがなく、能力が十分でない市民が法定後見を申立する場合、親族に代わって、市が家庭裁判所に成年後見の申立を行います。	
火災安全システムの設置	60万8千円
火災による緊急時の対応が困難な高齢者や障害のある人を対象に、火災警報器等を設置することにより、緊急時の迅速な対応を図るとともに生活の安全を確保します。	
成人歯科健康診査の実施	143万9千円
いつまでも、健康で明るい生活が営めるよう、40歳、50歳、60歳の市民を対象に歯と口腔の診査等を実施します。	

### 安全とやすらぎのあるまち (生活基盤整備)

地域防災計画の修正	462万円
災害から市民の生命、財産を守るために策定されている現行の計画を見直し、より現状に合った計画に修正します。	
市営駐車場立体化整備事業	1億8,716万5千円
道路交通の円滑化を図るとともに、自動車駐車台数の需要増加に応じるため、市営福生駅西口駐車場を立体化します。駐車可能台数は現在の39台から84台に増加します。	
福生水辺の楽校の運営	63万9千円
年間15回の予定で、水辺の親しみ方や野外学習を実施することによって、身近な環境への理解を深めます。	



公立福生病院

複数の自治体で共通する事務を共同処理するために一部事務組合を設立しています。今年度の負担金の予算額は左表のとおりです。

### 主な一部事務組合への負担金

区分	当初予算額
瑞穂斎場組合	3,972万円
福生病院組合	3億7,526万7千円
西多摩衛生組合	7億4,819万円
三多摩地域廃棄物広域処分組合	1億2,103万7千円
合計	12億8,421万4千円

市が特定の事業を行う場合に、その事業の収入で支出をまかない、一般会計から分離して収支経理を行うのが特別会計です。特別会計の5会計の予算は、下表のとおりです。

特別会計の総額は、127億560万8千円で、前年度に比べて4.7%、6億2,478万円の減少となりました。これは主に、国民健康保険会計の保険給付費等が増加となりましたが、下水道事業会計の管渠費や受託水道事業会計の配水費及び水道建設費の減少によるものです。

区分	平成16年度 当初予算額	平成15年度 当初予算額	増減率
国民健康保険会計	46億1,326万円	42億8,010万7千円	7.8%増
老人保健医療会計	33億6,966万9千円	35億6,732万2千円	5.5%減
介護保険会計	20億 708万2千円	18億7,407万1千円	7.1%増
下水道事業会計	20億2,591万7千円	26億 838万7千円	22.3%減
受託水道事業会計	6億8,968万円	10億 50万1千円	31.1%減
合計	127億 560万8千円	133億3,038万8千円	4.7%減

### 特別会計

